

ささえあい

No.21

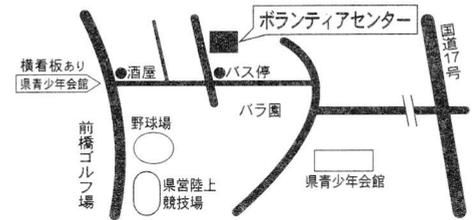
発行/前橋・在宅ケアネットワークの会

事務局 〒371-0045 前橋市緑が丘町26-1(市ボランティアセンター内)

TEL/FAX 027-235-6283

受付時間帯 9:30~12:30

郵便振替口座 00150-2-155119



利用者の推移 (01年7月~02年3月)

	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
保険請求数	22	28	39	46	46	43	44	45	44
ケアマネ登録数	25	30	42	49	52	55	61	61	65
利用希望者数	1	10	15	7	3	3	6	0	6

紹介を受けた方々

会員	27人 (うち開業医24人)	52%
利用者から	3人	6%
介護支援センター	4人	7%
老人保健施設	10人	19%
病院	1人	2%
他ボランティア	2人	4%
ディサービスセンター	1人	2%
他居宅支援事業所	4人	7%
合計	52人	100%



軌道に乗ることができ、ご紹介をいただいた皆さん

七月に始めた本事業は、二年目に入る年となりました。そこで、まず資料にある十三年度の利用者数の経過からわかることを報告し、会員にお返しすること、今後の見える事業活動にしていこうと考えています。

居宅介護支援事業(ケアマネ) 九ヶ月間の実績まとまる

昨年度の特徴は主に三点あります。

①NPO法人を母体として開設し、当初二十五名の利用者から始まり、現在ではケアマネージャー一人あたりが担当できる標準人数の五十人を超えることが出来ました。特に会員からの紹介が約半数で、なかでも医師からの紹介が多くなっています。当初は早くて半年かかると思っていました。事業開始後四ヶ月で五十名を超えたことは、驚異的なことでした。特に開所直後の八、九月期に増加したことで、早期に

が寄せられている。

ふれあいの広場

NPO(非営利団体)は、行政、企業に並ぶ第三の組織といわれ、活動の場が広がりつつあり、その動向に大きな関心

ボランティア活動に参加する人は、何かの役に立つことを願い、活動に参加している。参加は各自の意志による。強制するものではない。無報酬であるので、何時でも辞めることができる。と考えている人もいる。つまり組織と人をしっかりと結びつけておく仕組みが弱い。ボランティアは愛の気持から発する活動であるから、或る活動を始めるには、各人の情に訴え、納得・合意のもとに進めねば、成果はあがらない。それゆえ時間がかかるのはいたしかたがない。このような点からボランティア組織の運営は、企業に比べるとはるかに難しいといえる。

しかし、法人格を有するボランティア組織である当会が、手応えのある事業を始めたからには、その事業を全うする責任を負うわけで、業務の滞りは許されない。これからは、事務局を中心に、会員一同心を合わせて、業務の推進を図り、一層の実行力を発揮する必要がある。

(意志)

四月四日、当会のケアマネージャー三森さんと同行し、東京都板橋区を活動拠点にしているNPO法人かとれあ会(板橋支部支部長、比企真久(ひきまさひさ)さん)にお会いしてきました。かとれあ会は、居宅介護支援、訪問介護、また通院するのに身体的に支障のある透析患者さんを中心に無料での送迎サービスを事業として行っています。送迎では十三年度一年間で一二三名、日数にして二五七日の無料のサービス実績を残しています。介護保険事

NPO法人かとれあ会



板橋支部を訪問

業では、ケアマネージャーも頭で考えるより、実際にヘルパーとしてサービス提供を行い、利用者にとどのようなニーズがあるのかを肌で感じてケアプランに結びつけているということです。比企さんは、新しいことに対し、まずはやってみようという気持ちを持つことが大切、また、今後さらに医療と介護の連携が必要と、私たち二人にアドバイスを下さいました。当会でも今後の活動の参考にできればと思います。

須田 和也

様には心から感謝と御礼を申し上げたいと思います。
 ②事業開始直後は財政難だったため、会員からの資金援助や猪俣事務局長の温かい実務上の支えを得て、活動が順調に継続されました。現在は、毎月約四十五名のお年寄りのケアプランを作成し、介護報酬も月額平均で約三十二万円が確保されています。(保険請求者数と利用者数に違いがあるのは、その月にホームヘルパー等介護保険上のサービスを利用した実績がある場合に保険請求でき、入院・入所等何らかの理由で利用しない場合は請求の範囲外

となるからです。)
 ③最後に、現在のケアマネージャーのおかれた現状は、ともすると施設や病院の営業係になりがちですが、この居宅サービス事業者とも偏りなく対等に接し、要介護のお年寄りに最もふさわしいサービスを選択する上で重要な「中立性」をモットーに事業を実施する基盤が本会にできたことが最大の成果だと思えます。
 以上三点の特徴をふまえ、利用者の在宅生活をささえるために最も大切な「人のつながり」を強く意識するに至り、スタートの年でこの意識をもった

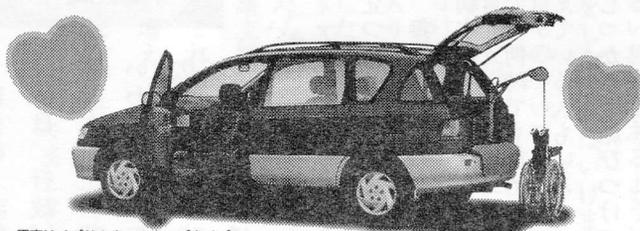
ことは今後事業を継続する上で大変しつかりした一歩を踏むことができたと考えています。「連携・共有」をキーワードに利用者を中心としたコミュニケーションをとり続け、今年度はその強化をはかっていくために紹介者・関係機関と情報の共有をしっかりとって参りたいと思います。
 当会ならではの事業展開ができるよう、利用者の紹介もよろしく願っています。

三森 和也



幸せをあげる群馬トヨペットの福祉車両

乗る方に応じた使いやすさと優しい配慮で、豊富な車種とバリエーションをご用意しております。



写真はイブサムウエルキャブタイプB

お客様相談フリーダイヤル ☎0120-29-5123
<http://www.toyota.co.jp/p-gunma/>

群馬トヨペット
 本社 〒371-0841 群馬市石倉町2-8-5 TEL.027-251-5111(代)

収益事業としての 居宅介護支援事業の今後の展開

当会は、NPO法人として、世間に喜ばれ、継続して実績を挙げることのできる事業を模索してきたが、なかなか実現できないでいた。しかし昨年五月に良き人材を得ることができ、主要メンバーで種々の検討を重ねた結果、十三年七月に「居宅介護支援事業所」を開設することを決定し、実行に移した。この事業は各部の努力により、本年三月末には利用者が六十名を越え、開設当初の二倍半となり、極めて順調に推移している。ここでこれ迄の事業を振り返り、さらなる進展のために今後の事業のあり方を考えてみたい。

介護保険制度が施行されて、家族中心の介護から社会全体で支えていく介護に変わり、与えられた福祉から、サービスを選び取れる仕組に変わるはずであったが、全国的な傾向としては、家族の負担を軽くすることが主となっていて、介護を受ける本人が納得できない支援も多く、期待したサービスが受けられないとの苦情が寄せられているのが現状である。

当会では、幸いにもケアマネージャーのひたむきな努力と、医療部会の強

力なバックアップにより、どの施設にも属さぬ中立的立場で、利用者からの相談受、利用者宅の訪問、ケアプランの作成、アフターケア等を実施し、六十名余の利用者と良き関係を保っている。今後は利用者がさらに増加する可能性が高く、継続性のある会の主要事業と位置づけることができる。本年度は、左記の事項に重点を置き、事業の進展をはかつていきたい。

■選択性と中立性の確立

特定の居宅サービス事業者に偏らない、利用者及び介助者が選択でき、利用しやすいケアプランを策定し、提供する。

■即応性の実施

連絡があれば、何時でも利用者を訪問して相談に応じ、利用者に適合した課題を共に考え、ケアプランの作成・見直し等を行って、より良い介護方法を見付けだす。

■介護サービスの適合性のモニター

実施されている介護サービスの効果

があがっているか、利用者の要介護度が進行することはないか、利用者の身体的な状態にあったケアプランになっているか等を検討するため、定期的に利用者宅を訪問し、評価・改善を行い、利用者及びそのまわりの者から信頼される事業活動を実施する。

■要員及び財政的な問題と対策

ケアマネージャー一人あたりの利用者は五十人が基準とされているが、信頼され期待される支援を実施するには、四十人程度が最善である。利用者が六十人を越えさらに増える状況にある事務量は、ケアマネージャーが一人で処理するには、至難と考えてよい。早急にケアマネージャーの増員と事務局体制の整備を図らねばならず、そのためには財政面の強化を検討し、対処する必要がある。

■モニタリング研究会の実施

ケアプランの評価、運用についての研究会を開催し、情報収集、開示、提言をまとめ、将来にわたる活動指針や方向づけの検討を実施する。(事務局)

「居宅介護支援事業」とは

どんなものですか？

「介護保険」については、色々のことを目にしていると思いますが、介護保険制度の中のひとつの役割としてあるのが、この「居宅介護支援事業」です。

この仕事は、ケアマネージャー（介護支援専門員）によってなされます。ケアマネージャーは、介護を必要としている人や、これから必要とする人の相談者です。人々の性格は一人ひとり異なりますし、好みも違いますので、生活内容は本当に複雑です。介護を受けるようになると、今迄とは生活内容が、がらっと変わるので、その中身が問題になります。利用者を取りまく環境を良く考え、整えて、その人を尊重し、安心して自宅で介護を受けられるように支援する人が、ケアマネージャーです。色々の介護方法や施設利用を組み合わせて、利用者の気持を十分に反映させたケアプランを作ります。さらにまた、その後の面倒を見ながら介護の改善をはかります。

このようなケアマネージャーの仕事を「居宅介護支援事業」といいます。

(事務局)

高齢者の地域における 自立生活支援について



東京福祉大学助教授 大橋 利雄
(元群馬県高齢政策課長)

阪神淡路大震災の教訓

平成十三年一月の毎日新聞の「記者の目」欄で阪神・淡路大震災時の高齢者の地域自立生活支援についての論評がなされている。

震災の外見上の復興の裏側で目立つようになったのは、一年後あたりから急増した仮設住宅などでの「孤独死」だった。社会への扉を閉ざしたままでこの世を去った被災者は二百人を超えるにいたった。そして、集合体としての復興住宅へ移った昨年(平成十二年)だけでも孤独死は五十人にのぼり、これに自殺や過労死を加えると犠牲者は七十五人にもなる。このことは真剣に考えられるべきことだ。
淡路島の北淡町においては仮設住宅から復興住宅へ移る過程で本土側と異

なる事情があった。それは前に住んでいた所の顔見知りの人がかたまって移住したこと。一方で神戸では平等を建前に復興住宅への入居が抽選で行われたことである。これによって地域の繋がりが薄くなってしまったといえる。

これへの対応として神戸では十二年にボランティアの訪問チームや生活相談員の制度が取り入れられ見守り活動が始まった。この活動は全市的に展開され一般地域への見守りサポーターによる活動先は1000世帯であった。

活動目標は在宅復帰

これは十四年度には「あんしんすこやかセンター」を拠点とする見守り推進員に引き継がれた、対象世帯の状況把握に努めることになった。

阪神・淡路大震災により強いインパ

この記録は、三月二十五日に行われた本会東地区の三月例会で行われた講演を会員の本間正三郎さんにまとめていただいたものです。

東地区では地区内の高齢者支援の活動として毎週火曜日「古市いこいの家」の活動を行っています。これを一層充実させようと同地区にお住まいの講師に講演をお願いしたものです。

例会では、会員医師の滝沢先生から救急時の気管内挿管について。中田先生から結核予防のBCG接種の最近の事情などのお話がありました。

参加者三十一名。

クトをうけたが、その具体的事例として独り暮らしでの孤独死、高齢者世帯、貧しい食生活、病気など速やかな連絡体制の整備が必要とされたのをうけ、各世帯への「チャイムの押口」の設置や、週一回の訪問活動などが検討された。そしてボランティアの熱心な活動は見直しを経て今日のNPO活動につながったとも言える。

こうして、神戸における地域見守り活動は一般地域における「見守りサポーター」による訪問活動や災害公営住宅での「高齢者世帯支援員」による訪問活動は「あんしんすこやかセンター」の見守り推進員の活動に委託・統合さ



NETWORK SOLUTION COMPANY

オフィスにおけるネットワークコンピューティングを強力にサポート!

システム・アルファは豊富な経験と実績をバックボーンに
Computer & Network でオフィスの明日を創造する企業です



システム・アルファ株式会社

本社：前橋市大友町2-23-5 TEL 027-253-1800
太田支社：太田市飯田町1053 OKビル TEL 0276-45-5568



都市と杜の新世界へ

鎮守の杜、里山の杜、参道の並木。
「杜(もり)」はいつも人々の暮らしに溶け込んだ癒しの場でした。これからの都市には、潤いと憩いをもたらす「杜」を身近に感じたい。私たちがヤマトが常に追い求めるもの、それは、人にも環境にも貢献できる技術。そして、環境に負担をかけない技術を生み出すこと。
創業以来、私たちはさまざまな分野で環境関連技術を駆使し、地球にやさしい社会づくりに貢献してまいりました。自然との調和を目指して、都市と杜の新世界へ。総合環境エンジニアリングカンパニーへの新たな歩みが始まります。



群馬県前橋市古市町118番地 〒371-0844
TEL.027-290-1800(代) FAX.027-290-1896
URL <http://www.yamato-se.co.jp>

環境マネジメントの国際標準規格 ISO14001 認証取得
品質保証の国際標準規格 ISO 9001 認証取得
支店/東京、埼玉、栃木、横浜、千葉、高崎
営業所/軽井沢、太田、伊勢崎、吾妻、熊谷、栃木市
付属施設/大和センター、大和環境技術研究所、大和分析センター

れることになった。地域と施設の連携により、個々の状況把握や在宅での地域生活バックアップなど地域での独立した生活を支援するようにしたわけである。また、施設は高齢者などが前に生活していた所へ帰れるよう考え、在宅復帰へのバックアップ施設でなければならぬと思う。

古市いこいの家・悠々くらぶ

高齢者の交流を目指し活動している「古市いこいの家」でのことだが、九十七歳のお年寄りが「わしは生き過ぎた。死んだほうがよかった」と言っていたが、「古市いこいの家」へ来るようになり「生きていて良かった」と話してくれたそうだが、この活動を支える人には励みになる言葉。こうした言葉が言えるような状況をそれぞれの地域で、またそれぞれの人がつくりだしていくことが望ましいことではないだろうか。

地域とのつながりが薄くなっている現状に各地でさまざまな取り組みがされている。県においても「要支援者ホーム」の構想が進められている。これは共同交流生活を行う集合住宅を拠点としてNPO、ボランティア、地域の子供・父兄などが支援、交流を行うことにより相互交流や生活支援を目指す

ものだ。そして自らの意志での共同生活であり、可能なら最後まで居られる所でもある。

日本女子大の小谷部教授はコレクティブハウジングの展望のなかでその社会的背景として家族形態の多様化・小規模化、高齢化社会のもたらす長寿化・少子化が高齢単身での暮らしの不安や商品経済・公共サービス依存生活への不安へとつながると指摘している。これは相互の関わり方の薄さとも言えるわけである。

隣人を感じる集合住宅の具体例として東京都荒川区にある「かんかん森」は賃貸にもかかわらず入居者の希望を設計に反映する手法をとっている。ここは二十八戸の居室とは別に共有スペースを広くとった。ここに入居する一人っ子の高校生は「大家族」への憧れがあったようだ。

もうひとつの例として熊本市の「もやい住宅・Mポート」がある。ここは入居者の自由設計により九二年に完成している。この際、入居者一人一人のつながりが生まれ、子供を預けることもあり、参加自由の忘年会などもあったようだ。こうしたことは「一軒家はモノを買うだけ、ここでは暮らしを手に入れたという感覚ですね」という言葉が聞かれている。

施設建設にあたっては、内容は設置者が決めるが建設段階から利用者が係わっていくことが大切で、運営まで相互に助け合うことが重要といえる。

共生型住宅（ケアハウス）としては前橋北部でも「悠々くらぶ」が建設されている。こうした所で留意されているのは居室設計に利用者の意向とか生活プログラムの自己決定など自らの生き方を創り出すことへの工夫であると思う。

かつて中毛地区での仮設住宅建設作業での立ち会いをした老人の「長生きはするものだね」の言葉は「古市いこいの家」での言葉とともに本人達が体験を通して感じ取った言葉として印象に残るものだ。

まとめとして

- ・高齢者を身内の感覚で受け止め、それに対して自分達は何ができるか。
- ・全ての人を対象とし、突き放すのではなく自分のこととして受け止める。
- ・地域のことを自分のこととして感じ取り人と人との連携が問題解決になること。以上を理解して、地域の中で自分の生き方を全うできるように、現実的のものとするべく努めることが望まれる。

(要約・本間正二郎)

おまかせ下さい防犯・防災



SOK

機械警備
ホームセキュリティ

施設警備
警備輸送

群馬総合ガードシステム(株)

代表取締役 川崎 弘

☎ 027-252-5454(代) FAX 027-251-8388

本社 〒371-0854 前橋市大渡町二丁目1番地の5

地域の情報 リアルタイムで!!

モーニングインフォメーション

あさいち・朝生・情報通

お昼のインフォメーション

月曜～金曜あさ6:55～

GTVニュース

ジャストオカ 545
600
930

●日曜ニュース&スポーツ
夕方6:00～

ふれ愛

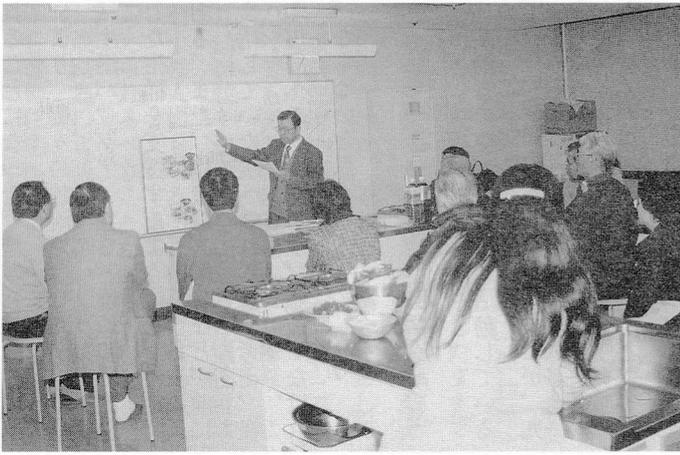
ワイド

月曜～金曜
ひる0:00～

おかけさまで30年

ぐんまTV

OTTO!



二月例会と三月理事会 が開かれました

—健康・長寿の食事学—
—軽ボラを相談—

二月例会

二月十六日土曜日夜、中央公民館で二月例会が行われました。この日は、食生活に造詣の深い石倉町の富沢隆先生（本会監査役）から「健康・長寿のための食事学」のお話を伺い、その後、参加者一同で鍋料理を囲んで、今後の軽度生活援助事業のすすめ方を話し合う趣向で開催されました。

富沢先生の講演は、正しい食事とはどういうものか、の問いかけから始まり、ヒトの身体を構成する元素や成分などを明らかにし、窒素やリンなど日



常摂取する食物と健康との関係を詳しく説明して下さいました。とくに人体を構成する細胞が取り入れる栄養素はすべてが一樣に吸収されるのではなく、臓器により代謝のサイクルが異なります。これを科学的に理解して食生活を営むことが期待されます。

品目としては豆類、魚類などをよくとること、家族や周囲の人とともに心が豊かになるような食生活が理想であると結ばれました。

講演のあとはみんなで鍋料理。

次いで鍋を囲みながら「軽度生活援助活動（軽ボラ）」について話し合いました。

用意した具は富沢先生のご指導により野菜とたんぱく質が盛沢山で、四つの鍋で水炊きをしました。うまいうまいと頬ばりました。

市の委託で近く事業を開始するが、事前準備として、援助の際の心構えや連絡方法など資料を用意しよう。一度有志のメンバーが集まりこれを相談する場をもとう。支援センターや医療機関を通じて本会が事業を行うことを挨拶し、幅広く宣伝してゆこう。そしてこの取組みを通じ「市民部会」「福祉部会」が動き出せるようにしよう。など基本方針が話し合われました。



三月理事会・運営委員会

三月十二日火曜日夜、中央公民館で本会の理事会・運営委員会が行われました。

議題は、期末を迎えるにあたり今年度の活動のまとめと次年度の方針案。七月から実施している介護保険事業「居宅介護支援事業」の実績報告。新たな課題の軽ボラ活動の実施方針など。そして本会事務局でながく活躍された澤地まゆみさんが退職し、新しく飯島はま子さんが着任し紹介されました。

事務局体制を充実強化する今後の手立てが熱心に議論されました。

私たちは「前橋・在宅ケアネットワークの会」をささえています。
医療を通じ すみやすい まちづくり

「かかりつけ医」として健康と介護の相談に応じます

相原 医院
 院長 相原 健次郎
 診療科目 内科・小児科
 〒371-0846 前橋市元総社町1-1-9
 TEL 027-251-2815

あらいクリニック
 院長 新井 和男
 診療科目 外科・内科
 〒371-0846 前橋市元総社町848-7
 TEL 027-253-0100 FAX 027-253-0020

五十嵐皮膚科医院
 院長 五十嵐 俊弥
 診療科目 皮膚科
 〒371-0016 前橋市城東町3-7-25
 TEL 027-232-1023

伊藤内科医院
 院長 伊藤 琢夫
 診療科目 内科・循環器科
 〒371-0031 前橋市下小出町2-49-16
 TEL 027-232-0537

岩内整形外科医院
 院長 岩内 省三
 診療科目 整形外科
 〒371-0023 前橋市本町3-1-24
 TEL 027-224-5265

全人会 前橋皮膚科医院
 大川 司/大川 章
 診療科目 皮膚科
 〒371-0034 前橋市昭和町1-7-17
 TEL 027-231-8675 FAX 027-231-0509

大塚外科胃腸科医院
 院長 大塚 浩之
 診療科目 外科・胃腸科
 〒371-0847 前橋市大友町3-23-4
 TEL 027-252-6006 FAX 027-252-6007

加藤外科内科医院
 院長 加藤 祐之助
 診療科目 外科
 〒371-0014 前橋市朝日町1-13-12
 TEL 027-243-5169 FAX 027-223-3149

河合歯科医院
 院長 河合 雅之
 診療科目 歯科
 〒371-0023 前橋市表町1-13-7
 TEL 027-221-6853

清宮 医院
 院長 清宮 和之
 診療科目 内科・消化器科
 〒371-0025 前橋市紅雲町2-12-10
 TEL 027-221-6518 FAX 027-223-2578



ディズニー・オン・アイス前橋公演
 ※グリーンドーム前橋
5月17日発売開始
S席 ¥5,800 3歳以下のお子様は保護者1名につき1名まで無料。但し、お席の必要な方は有料。
A席 ¥4,200
 (全席指定、S・A共に消費税込)

	9/27(金)	28(土)	29(日)	30(月)
11:00	○	○	○	10:30
15:00	○	○	○	14:30
19:00	○	○	○	18:30

 ローション、CNプレイガイド(セーブオン・am/pm・及びeプラザ)プレイシア、カインズホーム、チケットぴあ、ファミリーマート、グリーンドーム前橋、ユークス、東洋堂、機曾堂、東洋堂、長崎屋橋本店、ジャスコ沼川店、Nツアー鳥居観光、JTB各店 ほか
 株式会社 群馬テレビ 事業部 URL: www.gtv.co.jp
Tel. 027-219-0039

事務局から お知らせ
 今号から本会の活動を物心両面でさ
 せていただいている医療機関を「広
 告」形式で紹介いたします。掲載の協賛を
 いただいた会員の医療機関数は約五十
 軒です。
 今後「ささえあい」発行のたびに順次
 掲載させていただきますのでご了承下
 さい。
【軽ボラ 契約更新】
 さる四月二日、市役所で、市が実施
 する軽度生活支援事業を今年度も継続
 して委託を受ける正式契約を取交わし
 ました。
【趣味をお持ちの方】
 カメラ・パソコン・園芸・民謡・音
 楽など趣味をお持ちの方。お知らせ下
 さい。会の活動で協力いただきたい
 時、相談させていただきます。
 TEL 233516283 事務局

よろしくお願ひします (飯島)

この度、澤地さんの後任として事務局でお世話になることになりました、いいじまです。

さわやかな澤地さんの大ファンで大変癒されました。今後もご指導ご協力を下さると確信しておりますが何分にも不慣れですので、皆様のより一層のご指導とご鞭撻をよろしくお願ひ申し上げます。

皆様お元気でお過ごしでしょうか。早いもので事務局を去つてから二カ月余、本当にお世話になりました。

当会事務局でお手伝いさせていただいてから約三年。富澤医院の二階からボランティアセンターへの引越し、NPO法人の取得、三森ケアマネージャーの登場と、時の流れは多方面で変化をもたらしました。



介護保険が施行されて早二年が経過します。施行前は制度に対する不安や期待感から、メディアも介護保険一色と言つていい位、情報が行き交つてい

私事では神奈川に住んでいた養父の遠距離介護と死、夫の単身赴任、娘の結婚、自分も体調を崩したりと人生の変化も大きなものでした。

お世話になりました (澤地)

お世話になりました。 澤地。 よろしくお願ひします。 飯島

ました。それに比較すると今は、静かに進行している感もありますが、皆様の地域ではいかがでしょうか。未曾有の高齢者社会に向けて、いろいろな取り組みが多方面で実施され、又模索されている様で、私自身関心事の一つになっていきます。

会員の皆様と共に歩める楽しさを糧にして、微力ではありますが、お役が果たせる様努力しますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

幸い、飯島さんという実力、人間性共に申し分ない方が、後任として引き継いでくださいます。

事務局はパソコンのデータ処理、会計処理、印刷物の送付などほもちろんですが、皆さんの意見をうかがい、それを反映させるところです。ぜひ積極的に連絡をしてみてください。できれば押しかけて、お茶やコーヒーもいただいでしましましょう。

皆さんからの働きかけや応援が、事務局をどれだけ元気にするにか！

後記 編集

今年春の訪れが早く、お彼岸に桜の開花がありました。何か良い事が、早く来る予兆であればいいのですが。

平成十年から四年間、事務所に常勤し、業務全般を処理して下さいました澤地さんが、家庭の事情で勤務を辞めて、JAの福祉部門で活躍していた、飯島さんに交替しました。澤地さん本当にご苦労様でした。飯島さんよろしくお願ひします。

四月を迎え、新一年生が登校する可愛い姿を目にします。日本の現状は、子育てに問題が多く不安を感じます。子供達に明るい将来があるように、大人達は努力をしなければいけません。当会も、子育てのついでには、問題をしばって、子育て支援の活動に踏み出す準備を進めなければと考えています。

新年度に入り、収益事業が本格化してまいりました。軽ボラ活動も近く実績を挙げられるのではないのでしょうか。居宅介護支援も、ケアマネージャーの増員が望まれる状況です。それに伴い事務量が増え、事務局の強化が必要となっております。住みやすいまちづくりを目指して、頑張ります。